



③ 関西知識回廊^{*1}の形成

国際拠点・関西文化学術研究都市の支援

新たな関西都市圏の形成と広域連携を目指し、行動圏の拡大や交通渋滞の緩和、ライフサイエンス等の科学技術を支える都市基盤の整備を進めています。

彩都の整備

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
茨木市・箕面市

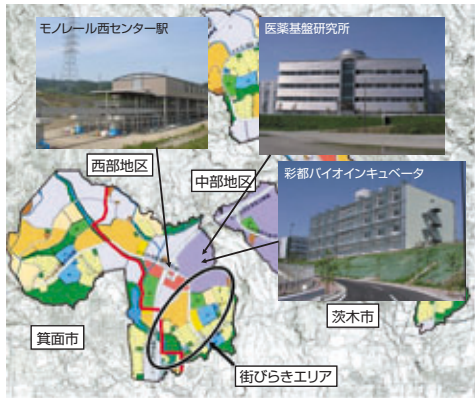
概要

関西の国際拠点形成を支援するため、引き続き関西文化学術研究都市(けいはんな)、神戸医療産業都市、西播磨科学公園都市、彩都(国際文化公園都市)等の学術研究都市の整備推進を図ります。彩都(国際文化公園都市)は北大阪の丘陵地に位置し、人と自然の調和を都市形成の基本に、ライフサイエンス分野の研究開発拠点をはじめ、国際的な学術研究・文化交流拠点を目標としており、国際化・高齢化・高度情報化等時代のニーズに対応した都市基盤(区画整理、モノレール等)の整備を支援します。

平成17年度の整備内容

西部地区の住宅や医薬基盤研究所、彩都バイオインキュベータなどのライフサイエンス分野の施設を活用するため、関連するアクセス道路・公園・下

水道の整備及び西センター駅(仮称)までのモノレール整備(平成19年春供用予定)を支援します。



彩都の土地利用計画



彩都の位置

関西文化学術研究都市への交通支援

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
清滝生駒道路

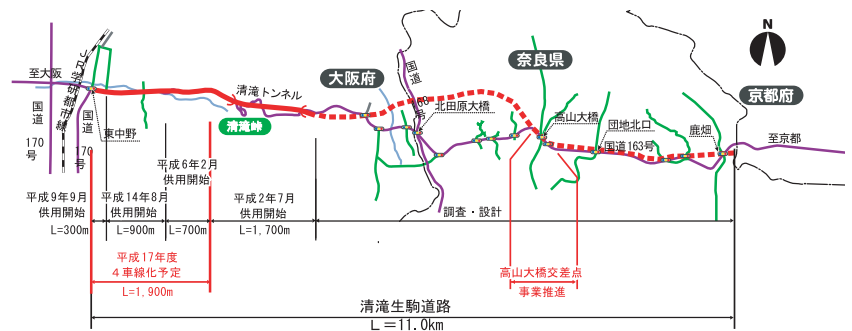
概要

京都、大阪、奈良の三府県にまたがる緑豊かな京阪奈丘陵において、建設・整備が進められている「関西文化学術研究都市(けいはんな)」は、東の「筑波研究学園都市(つくば)」とともに、国家プロジェクトに位置付けられており、国立国会図書館関西館等が建設され、まちづくりが進められています。

けいはんなへのアクセスは、平成12年4月に京奈道路が開通し、また、平成17年度には「京阪奈新線(生駒～登美ヶ丘;仮称)」の開通が予定されている等、着実に整備が行われています。

平成17年度の整備内容

清滝生駒道路(清滝区間)の一部区間(L=1.9km)を4車線化するとともに、奈良県域については高山大橋交差点の用地買収を進めます。また、京都府域については構造の見直しに伴う都市計画変更の手続きを進めます。



用語解説

*1 関西知識回廊とは、関西文化学術研究都市を中核に、光都、彩都を加えた新三都、及び大阪、京都、神戸等の大都市を軸として、関西に集積している学術研究拠点とその周辺地域は、学術研究の集積地域として、また、新しい産業の創造地域として、互いに競争しながら、有機的なネットワーク提携をしていくことが期待されています。学術研究拠点を中心に多様な連携と交流を進めることによって、未来への展望を示す新しい知恵や産業が生み出され、地域と新産業の結びつきが新たなコミュニティの形成につながり、世界中から人々が集う回廊となることを目指します。